

地域と一体となって取り組む牛白血病対策～未来を守る第一歩～

三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所

○今井良 川畑清香

近年、全国的に牛白血病の発生が急増。管内でも増加していることから、生産者に対し巡回指導や講習会等で牛白血病対策を啓発。特に、肉用繁殖経営24戸で繁殖牛421頭を飼育するA地域の生産者を対象に、獣医師、自治体、農協と家保とがタッグを組み対策を推進。検査を希望した17戸の全繁殖牛275頭の抗体検査を実施。抗体陽性牛は212頭で77%と高い陽性率。現状を地域全体で認識するため検討会を開催し、牛白血病に関する衛生対策ガイドラインに基づき指導。抗体陽性率の高さ、分離飼養等対策の煩雑さから清浄化推進への意欲低下を防止するため、農場を個別巡回し畜舎構造や飼養管理に合わせた対策を指導。地域全体で意識できるよう、抗体陰性牛の耳標に共通のマーキングをするなど工夫。ECの鍵によるハイリスク牛の隔離や早期更新など未来に向けた対策を提案。また、抗体陰性牛については、複数回検査により陽転の有無とリスク要因を検証し対策を強化。これらの取り組みを進める中で対策の意欲が芽生え、抗体検査実施農家は20戸（A地域戸数の83%）に増加。対策を進め、検討を重ねる中で牛白血病に対する認識が深まり、地域が一体化。今後も新たな対策を提案し、積極的に牛白血病清浄化を推進していく所存。